

平成18年度 再評価対象事業一覧表(第3回)

平成18年8月作成

整理番号	事業計画					再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)					
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要		事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無				
							工期		事業費(億円)	前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)				用地進捗率(%)	H18年度事業費(億円)				H19年度以降事業費(億円)	B/C	分析基礎の要因の変化	
							着工	完了															当初
農林部																							
農村整備課																							
農整-4	農免農道整備事業	小佐々中央	県	佐世保市	受益面積 10.4ha 道路工 1,950m 幅員 7.0(5.5)m	H5	H23	15.8	社会経済情勢の変化	7.0	44	100	0.1	8.7	市道矢岳冷水西川内線を市道改良でL=2,130mの総事業費971,000千円をかけ改修予定であるが、事業実施の目途はたっていない。	農業産出額はH8年の500万円をピークに年々減少し、H16年時点は160万円とピーク時に比べ3割程度に減少している。肉用牛の飼養農家数及び飼育頭数については、H14をピークに減少している。農家の営農意欲が低下し、受益地が減少した。事業費は物価変動による減。	受益者の後継者不足等の理由により営農意欲が低下し、受益地が減少したため、受益者、佐世保市は事業継続の推進は困難と判断している。	1.05	0.81	営農意欲の低下による、受益地の減。	縦断勾配の見直しにより橋梁工を99mから12mに変更、捨土を路線沿いの農地に捨土し、工事費の縮減を図った。代替案の可能性はない	H10	中止
					H5	H18	15.8																
水産部																							
水産基盤計画課																							
水計-6	広域漁港整備事業(特定)	平地区(平漁港、宇久漁場)	県	佐世保市	<平漁港> 防波堤(A) 50m 廃止 防波堤(B) 80m 廃止 防波堤(C) 80m 防波堤(D) 30m 廃止 防波堤(撤去) 70m 護岸 290m 廃止 突堤(移設) 20m 防波堤(改良) 61m 追加 護岸(改良) 290m 追加 -6.5m泊地 10,000㎡ -6.5m岸壁(改良) 145m -3.0m岸壁 300m 廃止 突堤(網取A) 20m 突堤(網取B) 50m 浮体式係船岸(移設) 1基 浮体式係船岸(補修) 1基 -3m岸壁(改良) 60m 追加 -2m物揚場(改良) 75m 追加 道路(A) 500m 廃止 道路(B) 60m 道路(C) 40m 廃止 用地(A) 10,000㎡ 廃止 用地(D) 500㎡ <宇久漁場> 魚礁設置 0.558ha	H14	H23	35.1	漁業情勢の急激な変化による計画の見直し	8.9	44	-	1.5	9.7	磯焼け等による周辺海域の漁業資源の減少に伴い、漁獲量が減少しており、魚価の低迷により水揚げ金額が減少している。又後継者不足と漁業従事者の高齢化も進み経営環境は厳しい。まき船等の外来船はほぼ横ばいで推移しているが、地元船は年々減少(H7で162隻、H11で156隻、H16で134隻)して居る。地元船の減少分をまき網船の係留に充てる等で規模の縮小を図るため、事業計画の見直しを行う。	・既設防波堤、護岸が老朽化、天端高不足に伴うしぶきで家屋に潮がかかったり、漁船が転覆したこともあるため早急に施設の整備が必要であると宇久町より強い要望がある。 ・陸揚げ、準備、休憩等の係留施設で潮の干満により干潮時高低差が生じ、高齢者にとっては、危険な作業であり能率低下にもつながるため浮体式係船岸に改良して欲しいと漁協より強い要望がある。	1.27	1.02	係留関係施設整備廃止による効果項目の減少	なし	-	見直し継続	
					H14	H23	20.1																

平成18年度 再評価対象事業一覧表(第3回)

平成18年8月作成

整理番号	事業計画						再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)			
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無		
						着工			完了	前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H18年度事業費(億円)				H19年度以降事業費(億円)	B/C				分析基礎の要因の変化	
						上段:当初 下段:変更											当初	現行					
土木部																							
道路建設課																							
道建-3	特殊改良一種事業	一般国道382号 畠ヶ浦拡幅	県	対馬市	延長=2.5km 幅員=6.0(10.0)m 狭隘区間を解消し、交通の安全を図る。	H7	H19	25.0	社会経済情勢の変化による事業規模の見直し	12.2	48	75	0.8	0.0	-	残事業区間については共有地整理のための入会林野整備事業の遅れにより、用地の取得が平成21年度以降の見込みであるため、事業規模を縮小し平成18年度にて事業完了としたい。	2.6(H16)	2.6	なし	H16	見直し継続(完了)		
					H7	H18	13.0																
港湾課																							
港湾-5	仁田港改修事業	小型船だまり整備	県	対馬市	物揚場(-3.0m) 延長120m 物揚場(-2.0m) 延長100m 浮棧橋 1基 船揚場 延長10m 泊地(-2.0m) 面積12,748㎡ 道路(改良) 延長1,040m、幅員5.5m 道路(A) 延長65m、幅員5.5m ふ頭用地 面積7,300㎡	H1	H16	19.6	再評価後5年経過	21.5	93	74	0.6	1.1	-	登録漁船は約90隻で推移しており、近年は横ばいの状況である。なお、道路について、用地取得等に不測の日数を要したため、事業期間を延長する。	漁船の安全な係留と効率的な漁業活動のための施設整備が強く要望され、施設の早期完成が望まれている。	1.2	1.8	・全国統一の算定手法の見直し ・用地費、補償費の算定の結果、事業費を増額	-	H13	継続
					H1	H20	23.2																